

かたはらいたきもの 枕草子

いたたまれない 上手に いたたまない
かたはらいたきもの、よく も 音彈きことめ 琴を、よくも

調べで、心の限りで、彈きたてたる。

② 客などに会ひてもの言ふに、奥の方にうちとけ言など
会つ何か話をしている時遠慮の無い話

してくるの
言ふを、えは制せ
で聞く心地。
——
——

③思ふ人のいたくとも醉ひて、同じことしめたる。姿

④ 聞き る たり けるを 知ら で、人のうへ 言ひ たる
聞いてい た ないで 尊話 に 言つた

⑤ それは、何ばかりの人がならぬども、
自分の使用者の人などだにいと、かたはらいたし。

自宅から離れてしばらく滞在している
⑥旅立ちたる所にて、下衆どものざれふるたる。姿

いとおしがり うつくしみ、かなしがり、これ が声のままに、言ひ
かわいがり にの が 声のままであることなど たることなど

⑧学問の才ある人の前にて、才なき人の、ものおぼえ声に

有名な
人の名など言ひ
たる。 を
言つ
てゐる
姿

それほど
ことに
よしともおぼえぬ
わが歌を、人に語りて、
話して聞かせ
うまい思われない自分の歌を聞く

人のが
誉めてくれ
ほめなど
したる
よし
言ふも、かたはらしいたし。